（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ０４１	**提案機関名**	農業技術センター普及指導部

要望問題名
圏央道工事に伴い地盤補強工事が行われた復旧水田の土壌環境と生産への影響評価

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

圏央道工事に伴い、超大型重機を水田に設置するために、水田土壌を３ｍ掘り下げ、地盤補強を行い、工事終了後に土壌を戻す工事が実施される。
このため、工事後の水田復旧の問題が出てきている。現状復帰されても、下層には、補強された地盤が残り、土壌の透水性や硬度等が大幅に変わることが予想される。
また、従来行われていた砂利採取後の水田条件とは異なり、収量・品質に影響が出ることが予想され、変化した土壌環境について調査し調査結果に基づき影響を回避するための生産技術を検討する必要がある。
そこで、復旧水田への対応として次の調査等をお願いする。
・影響の少ない、有効土層の耕土層、耕盤層の復旧技術の検討。
・補強土層が残る土壌環境調査
・水田耕作における収量・品質確保のための有効的経年作業の組み合わせの検討。

対象地域：厚木市
面積：１ｈａ

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	農業環境研究部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名　（①、②、④の場合）	

対応の内容等
農業環境研究部ではこれまでに土壌環境の変動要因の解明と保全対策策定のため、県内農耕地土壌の定期的なモニタリング調査を実施してきました。それらから得られる知見を情報提供するとともに、復元田での水稲の安定生産技術の確立のため、土壌環境変化を把握するための現地での土壌断面調査等に協力します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	